



# News letter

発行者：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室  
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
電話：018-889-2260  
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

## 秋田大学研究支援員制度を実施しています

平成23年度文部科学省科学技術人材育成費補助金女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）の一環として、本学の女性研究者が出産・育児等と研究活動を両立できるように支援するために、研究支援員として配置する「研究支援員制度」を実施しています。

現在利用できるのは本学の女性研究者（教員）で妊娠中又は小学校就学前の子供を養育中である方に限られています。（詳細はコロコニのホームページか学内ポータルサイトをご覧ください。）

また、今後「代替要員人材情報データベース」も実施予定です。県内の大学と連携し、代替要員として可能な機関に所属する研究者や教員の情報を集約したデータベースを構築中です。学内でも多くの先生方にご協力をいただきました。本紙面をお借りしてお礼申し上げます。詳しくは次号に掲載する予定です。

## 第4回男女共同参画推進室コンシェルジュ・デスク相談員研修会 「家族介護者のメンタルヘルス」を開催

5月27日、本部管理棟3階第1会議室において、第4回コンシェルジュ・デスク相談員研修会「家族介護者のメンタルヘルス」を開催いたしました。今回は本学医学系研究科助教上村佐知子先生を講師にお迎えして、家族を介護する「介護者」の心の健康についてお話ししていただきました。

本研修会の直前まで震災の被災地で支援活動に当たられた上村先生は、現地で「支援者のための支援」をされていました。家族の介護に当たる人のための支援についても同じことが有効であると具体的に解説してくださいました。震災被災地での支援活動と同様、家族の介護も長期に渡ることが多く、いつまで続くのか先が見えないというケースが多くあります。その場合は、家族介護者にとって介護期間中のメンタルケアが重要になります。

具体的には①客観的・専門的立場からの意見を聞く、②介護からの休暇を取る、③しっかりと愚痴をこぼし、周囲とコミュニケーションを取る。以上のことがストレスの緩和になるということです。

すでに皆様のお手元に届いていると思いますが、今回の上村先生のお話に基づいた小冊子を発行いたしました。  
ぜひ参考にしていただければと思います。



講師の上村佐知子先生

**聖靈女子短期大学コラボ企画****「リケジョ(理系女子)への扉」  
開催のお知らせ**

平成23年10月22日（土）に秋田キャッスルホテルの一環として、「リケジョへの扉」を開催いたします。

前半の講演では、iPS細胞の生みの親である「京都大学iPS細胞研究所 山中伸弥研究室」に特定研究員として所属されている佐藤美子氏を講師にお迎えして、「すべては好奇心から～iPS細胞研究でつながる～」と題し、講演を行っていただきます。

佐藤氏は秋田県出身で、聖靈女子短期大学を卒業後、秋田大学医学系研究科修士課程を修了され、現在に至ります。

講演は一般の方も対象で、iPS細胞研究のお話を交え、キャラ形成課程のお話をしていただく予定です。

また、後半は中高生を対象にした聖靈女子短期大学の先生方による調理実験を行い、調理学の一部分を体験できます。皆様のご参加をお待ちしております。

**日時**：平成23年10月22日（土）  
13:00～15:00（開場12:30）  
**場所**：秋田キャッスルホテル 3階「弥生の間」  
(キャッスルホテルの駐車場をご利用の場合は3時間無料になります。)  
**対象**：中高生・一般  
**定員**：講演60名／実験30名  
(申込必要、先着順)  
**受付期間**：9月20日～10月7日

**「若手女性研究者ための  
外部資金獲得セミナー」**

「研究資金取得のための  
ちょっとしたコツ」

男性の方の  
お持ち帰り  
おります！

講師／東京女子医科大学 心臓血管外科

助教 富澤 康子 氏

**日 時**

平成23年 9月22日

15:00～16:30

**場 所**

秋田大学医学系研究棟3階  
講義室3

**会場**



主催：秋田大学男女共同参画推進室

共催：秋田大学医学系研究科推進室

TEL 018-889-2260 FAX 018-889-3186 E-mail: sankaku2@jim.u.akita-u.ac.jp

平成23年9月22日（木）に秋田大学医学系研究科の医学系研究棟3階 講義室3において「研究資金取得のためのちょっとしたコツ」と題したセミナーを開催します。 東京女子医科大学心臓血管外科 助教 富澤康子先生を講師としてお招きしてご講演していただきます。 対象は研究に関係のある方はどなたでも参加可能です。 「これから研究資金を取得するにはどうしたらいいか」、「なかなか研究資金の申請が通らないのはどうしてだろう」と思われている方は、ヒントになるかもしれません。男性の方ももちろん、学生の方も含めて皆様のご参加をお待ちしております。

